

大事協だより

各地区からのおたより



今回の原稿は、大和村・和泊町に寄せていただきました。ありがとうございます。支援室だよりも提供していただきましたのでぜひご覧ください。



大和村事務職員会

大和村立大柵小学校 平田 りえ

みなさん、こんにちは。大和村事務職員会です。

大和村は、奄美大島中央部に位置し、「すもも」や「たんかん」などの果樹栽培が盛んです。最近では、大河ドラマ「西郷どん」のロケ地となった「宮古崎」もあることから、以前より観光客が訪れるようになりました。

大和村には小学校5校（うち1校は休校）、中学校1校があり、4名の事務職員が配置されています。今年度は新規の事務職員が2名加わりました。

そこで、大和村事務職員会では、学校事務初心者でも業務を円滑に進められるよう、事務職員相互の支援強化、特に初任者への支援に力を入れて活動しています。主な活動内容として、折々の事務内容の確認や質疑応答の時間を設ける、旅費請求書や諸手当認定書類の確認など初任者でも安心して業務を進められるようにしています。

また、隔月で事務支援室だより「じんむん」を発行し、大和村の教職員へ情報を発信しています。その時期に必要な事務手続きの情報や、各学校で広報誌に取り上げてほしいと言われた内容などを分かりやすく伝えられるよう工夫しています。提供する情報を分担して調べることで、事務職員としてのスキルアップも図れています。

今後は、村費事務マニュアルの見直しなど、既存事務の効率化を進めることや、自分たちにできることから少しずつ学校運営にも協力していきたいと考えています。



宮古崎

和泊町事務職員会

ウガミヤブラ。和泊町事務職員会です。

本町は小学校4校、中学校2校あり、6名の事務職員で支援室や研修会を行っています。

支援室は基本的に月2回実施しています。今年度から支援室内で自主検査補助を行い、毎回違う事務職員が検査するようにしています。他にも支援室だよりの作成や教育支援に取り組んでいます。

町の研修会は年9回（うち3回は知名町との合同研修会）あり、年1回、知名町と合同で管外研修として島外の学校や施設を訪問しています。

本町では経験年数の浅い事務職員が半数以上を占めるので、今年度はそれぞれ実践報告を出し合いながら学校運営への参画方法について情報共有、意見交換をしています。

支援室と同じメンバーになりますが、研修会では、学校という組織の中の一員として事務職員は何ができるのか、何を求められているのかを考え、そのスキルや知識を深めることを目的として研修しています。

真面目な6名ですが、研修中に誰かがぼろっと冗談を言うと、そこからどんどん話に花が咲いていく楽しい6名でもあります。今後もこのメンバーで相互研鑽に努めてまいります。



鹿児島ユナイテッドFC
J2昇格!!
おめでとうございます♪



新規採用者の声



大和村立大和中学校 西竹 菜瑠美



新規採用として大和中学校に赴任してから半年が過ぎました。たくさんの期待と不安を抱えながら奄美大島にやってきましたが、学校でも地域でも多くの方々に支えていただき、自分が恵まれた環境であることを実感しながら日々を過ごしています。特に、支援室の先生方には諸手当認定事務や旅費計算を始め、業務について一から丁寧に教えていただき、本当に感謝しています。

行事が多い中学校で、何事も一生懸命に取り組む生徒やそれを全力でサポートしている先生方を見て私も元気づけられ、学校に勤務してよかったと思う毎日です。まだまだ未熟ですが、これからも学校運営をスムーズにできるよう自分にできることを模索しながら精進しますので、よろしくをお願いします。

最近、水泳部の生徒と一緒に筋トレをしているのですが、中学生の体力についていくのは大変で自分が一番汗を流しています。年末が近づき忙しくなりますが、体を動かしてリフレッシュしつつ、冬休みの楽しみを糧に乗り切ろうと思います。きばろうでい！



大和村立名音小学校 幸田 慧斗



こんにちは！4月より大和村立名音小学校に赴任しました幸田慧斗です。趣味はエレクトーンで特技はバドミントンです。初めての奄美大島の生活で綺麗な海と、台風の激しさに感動しています。

昨年は金融機関で営業の仕事をしていました。学校事務の仕事は初めてなので昨年と比較すると仕事内容は大きく変わった感じがします。赴任当初は聞き慣れないワードや見たことない書類が多くあたふたして不安な面もたくさんありましたが、支援室の先生方に助けていただき丁寧に教えてもらいました。赴任して半年が過ぎ、少しずつではありますが業務にも余裕が出てきたので、丁寧な処理と迅速な対応を目標にして仕事に取り組みたいと思っています。

今現在、名音小学校は児童数11人職員8人の学校で人数も少なく地域や子ども達とふれあう機会もたくさんあり多くの事を学ばせて頂いています。事務の仕事を通して学校運営、子どもの成長に携わり、子ども達と共に自分自身の成長に繋がっていけばと思っています。

大事協より



第2回理事会・執行部会の報告



地区事務研の前日の10月23日、13時から執行部会が、15時から理事会がありました。

今年度の活動経過報告、今後の活動計画、県事協評議員会・総代会報告、第13次県費事務改善検討委員会報告について等の協議をしました。



第2回地区事務研 研究事例発表について



第2回の地区事務職員研修会の大事協の持ち時間では、各地区における実践・取り組みについて発表し、情報交換と研修を深めています。平成25年度から3地区ずつ発表し、昨年度で一巡したため、この時間をどうするかという協議を重ねてきました。

“情報交換の場”というところに重点を置き、発表枠を少なくした分、意見交換の時間を設けようという趣旨のもと、今年度初めて分散会形式をとりましたが、いかがでしたか。

今年度の発表は、笠利・龍郷の担当でした。笠利は、奄美市の学校事務の概要と支援室での取り組みについて報告してくださりました。龍郷も支援室のこれまでの取り組みについて、各校の学校徴収金の分析と支援室日より、ソーシャルメディアを活用した情報発信のことをピックアップし報告してくださりました。

第1分散会、第2分散会ともに、龍郷の学校徴収金の公費・私費の線引きについてや、広報活動への職員の反応等について質問がありました。笠利の発表に対しては、第1分散会では給食事務について、第2分散会では市の備品監査についての意見がありました。

初めての分散会形式で、運営についての意見などもあるかと思います。アンケート結果をもとに、来年度よりよい運営ができるよう大事協の方でも努力していきます。

発表をしてくださった笠利・龍郷、分散会で司会をしてくださった奄美市西部・東部、記録をとってくださった喜界・住用の先生方、ご協力ありがとうございました。来年度は喜界と住用が発表担当となっております。



* 今回、奄美市笠利ブロックが編集してくださりました。ありがとうございました。

* 次回64号の編集担当は、奄美市住用ブロック、原稿提出担当は奄美市東部ブロック・伊仙町となっております。準備方よろしくをお願いします。

